

# 令和3年（2021年）度 努力目標委員会 年間計画

令和3年4月6日（火）

## 1. 次年度の研究教科と研究主題

研究教科：国語科

研究主題：「自ら考え、紡ぎあい、深い学びへつながる授業作り」

## 2. 研究を進めるにあたって

### ①目指す子ども像

#### 「考えを伝えあい、紡ぎあって練り上げることができる子どもの育成」

本校の児童の特徴として、素直で協調性がある一方、主体的に行動したり、自分の気持ちを表現したりすることに課題がある。今年度では、国語科において「自ら考え」（読みの観点をもって考えを持つ）、「紡ぎあい」（考えたことを伝える、傾聴して自分の考えと比較する）、「深い学び」（交流を通して納得解を見つける）ということを目指す。

### ②子どもたちが考えを紡ぎあう場面を意識した授業づくりを目指すために

#### <物語の指導について>

##### ○発問

- ・学年に応じた発問

主観的・共感的（～はどんな気持ちか）、主観的・投影的（～になったらどうするか）＝低学年

客観的・分析的（～がしたのはなぜか）、客観的・批判的（～のことをどう思うか）＝高学年

- ・視点を定めて発問を設定する。（登場人物、読者の視点など）

##### ○物語の読み方

- ・場面構成や情景描写を読み取るといった単元構成を考えた分析的な読み

例：①構造と内容の把握（題名読み・通読、場面分け、お話の図・変容）

②精査・解釈（場面ごとの読み、山場読み）

③考えの形成（変容、主題）

④共有（交流）

- ・深い読み

（変容を考えることで言葉を考える。自分に置き換えてみる。）

（心情曲線のズレを読みのスタートにする。）

- ・一人読みの進め方

（一枚物の教材文、教材文から根拠を探す、考えを持つことが難しい児童への手立て）

- ・三次を視野に入れた単元計画

（この単元で何を学ばせるのかを設定し、目的意識を持つ。本の紹介、作品から伝わるものなど）

##### ○指導案の目標と評価

- ・『手段』を通して、『目標（つきたい力、ゴール）』ができる。』の構成で目標を設定する。

- ・子どもの行動レベルで評価基準を明確にし、指導案に明記する。

## <主体的に対話するために>

### ○日々の学習の中で

- ・言葉（言動や様子、修飾語、情景、言葉のつながり）に着目し、教材文をもとに自分の考えを持つ。
- ・自分の考えをノートやワークシートにまとめる際、接続詞を使い、質より量を書かせる。
- ・吹き出し法を使う（学習課題を見て、頭に浮かんだことを吹き出しにしてい。学習の見通しをもつて考える。）
- ・納得度を書かせる（問いに対する考えの納得度を書く→自分の納得度が目標になる。）
- ・「学習内容の系統表」（努目フォルダ内）を活用する。

### ○学級経営

- ・子ども同士が考えを紡ぎあい、互いを高めあうための、安心して自分の考えを表現できるクラス作り（オープンクエスチョン、あいづち、傾聴の姿勢、話し合いの場の設定、目的を考えてペアトークを入れる、互いに認め合えるクラス作り等）
- ・抽象的な言語についての指導（子どものためにわかりやすく説明するのではなく、教師が日常から意図的に使うようにする。）